

消費者志向自主宣言

2024年9月

オカムラは、消費者庁が推進する消費者志向経営の活動に賛同し、この度、消費者志向自主宣言いたします。

消費者志向経営とは、「消費者」と「共創・協働」して「社会価値」を向上させる経営と定義されています。ここでは「消費者」は現在の顧客に限定せず、事業者が提供する商品・サービスを将来利用する、又は関与する可能性のある主体(自社従業員、取引先、地域住民など)すべてを指しています。

消費者庁では消費者志向経営を推進する次の3つの活動を掲げています。

1. 「みんなの声を聴き、かついかすこと」
2. 「未来・次世代のために取り組むこと」
3. 「法令の遵守／コーポレートガバナンスの強化をすること」

オカムラグループは、「豊かな発想と確かな品質で、人が生きる環境づくりを通して、社会に貢献する。」をミッションとし、「人が生きる社会の実現」を目指しています。一人ひとりが「生きる」ことこそが、持続可能な社会の実現につながるという信念と使命感のもとに、すべての人々が笑顔で生き活きと働き暮らせる社会を実現してまいります。また、顧客のニーズを的確に捉えたクオリティの高い製品とサービスを社会に提供することに努め、企業価値のさらなる向上と社会課題の解決に取り組んでまいります。

この取り組みを進める事で消費者志向経営を推進しております。